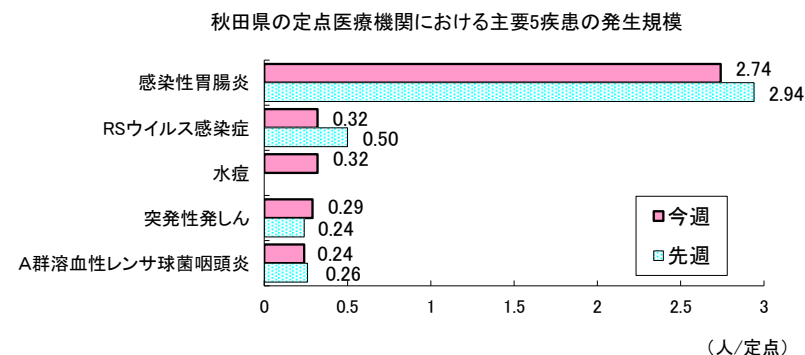




【第22週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で7%減少しています。保健所別では、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で増加、秋田市、大館、北秋田、横手で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で36%減少しています。保健所別では、報告のあった全ての保健所で減少しています。
3. 水痘は、県全体で増加しています。保健所別では、報告のあった全ての保健所で増加しています。



発生報告

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減			
RSウイルス感染症	0.50	0.32	↘	1.86	1.29	↘													1.00	0.50	↘									
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.06		0.14	0.14																	0.25	0.25							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.26	0.24	↘	0.29	0.29		0.25	0.25							0.75	0.75			0.25		↘	0.50	0.50							
感染性胃腸炎	2.94	2.74	↘	2.86	1.43	↘	5.50	1.75	↘	4.50	3.00	↘	4.00	4.33	↗	0.75	1.75	↗	1.50	4.00	↗	2.50	3.75	↗	2.00	1.33	↘	4.00	5.00	↗
水痘		0.32	↗		0.29	↗		2.25	↗																					
手足口病																														
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.24	0.29	↗	0.43	0.43		0.25		↘	1.00	0.50	↘							0.50	↗		0.50	↗	0.33	0.67	↗	0.33		↘	
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.03	↗																									0.33	↗	
川崎病																														
急性出血性結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*		*	*							1.00		↘	*	*		
流行性角結膜炎	0.29		↘	0.67		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎															*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-21週		22週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	5687	26	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	11		
	腸管出血性大腸菌感染症	531	7	
	腸チフス	7		
	パラチフス	1		
四類	E型肝炎	181		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	29		
	エキノкокクス症	9		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	5		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	40		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱			
	つつが虫病	75	3	1
	デング熱	12		
	東部ウマ脳炎			
鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)				
ニパウイルス感染症				

類型	疾患名	1週-21週		22週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	66		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	5		
	野兔病			
	ライム病	2		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽	1		
	レジオネラ症	560	4	
レプトスピラ症	1			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	194		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	78		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	579	3	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	9		
	急性脳炎	105		
	クリプトスポリジウム症	3		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	72		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	305		
	後天性免疫不全症候群	344		
	ジアルジア症	13		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	75	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	4		
	侵襲性肺炎球菌感染症	507	5	
	水痘(入院例に限る)	127	5	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	4201	14	2
	播種性クリプトкокクス症	57		
	破傷風	25		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	63		
百日咳	225	3		
風しん	2			
麻疹	1			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2			
* 新型コロナウイルス感染症	28303	531		

* 新型インフルエンザ等感染症

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が由利本荘保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、報告されました。

・四類感染症のつつが虫病が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から2人、報告されました。

・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から134人、大館保健所管内から77人、北秋田保健所管内から19人、能代保健所管内から12人、秋田中央保健所管内から61人、由利本荘保健所管内から74人、大仙保健所管内から52人、横手保健所管内から71人、湯沢保健所管内から31人、報告されました。

つつが虫病情報

つつが虫の発生報告が1件ありました。

事例No.	届出日	管轄保健所	年齢	性別	症状	感染要因(推定)
4	5/30	秋田市	70代	女性	発熱、発疹、刺し口(臀部)	山菜採り

* 今年4例目のつつが虫の患者報告がありました。5月以降、つつが虫の患者発生が続いています。農作業、山菜採りや魚釣りなどの野外活動で感染する機会が多いため、これらの活動をする際はツツガムシにご注意ください。

■ポイント

- ・野山、田畑、河川敷では長袖、長ズボンを着用するなどして、できるだけ素肌を出さないようにしましょう。
- ・ツツガムシの忌避効果が認められている虫除けスプレー剤もありますので、併せて活用しましょう(ただし、効果は塗布部に限定され、持続時間も限られます)。
- ・野外活動から帰宅した後は、すぐに入浴して体を入念に洗い、着ていた衣類は室内に持ち込まない、またはすぐに洗濯しましょう。
- ・治療では、早期に適切な抗菌薬の投与が必要です。主な症状は、38℃以上の高熱とその後に見られる発疹で、ツツガムシに刺咬された部分に1cmほどの大きなかさぶたが出来ることが特徴です。これらの症状がある場合は、早めに内科、皮膚科などの医療機関を受診しましょう。その際、発症前の野外での活動状況を伝えることが大切です。

感染性胃腸炎の集団発生報告

感染性胃腸炎の集団発生報告が2件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	検出病原体
			利用者(園児、入所者等)	職員	計			
仙北市	角館こども園	6/2	160名のうち 24名	50名のうち 0名	24名	5/20 ~ 6/2	嘔吐、下痢	
羽後町	みわこども園	6/3	104名のうち 9名	30名のうち 0名	9名	5/25 ~ 6/3	嘔吐、下痢、発熱	ノロウイルス



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	-	大館(2.25)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		